

日本脳炎の特例措置について

北海道では、これまで数十年以上日本脳炎の患者はなく、感染を媒介する蚊（コガタアカイエカ）も生息していないため、日本脳炎の定期予防接種を行っていませんでした。

しかしながら、道民が日本脳炎の発生している道外や海外に行き来する機会は増えており、日本脳炎に感染する可能性が高まっているため、平成28年度から北海道においても定期接種として実施することとなりました。定期接種化により対象の方は無料で予防接種を受けることができるようになりました。

*定期接種とは「予防接種法」という法律に基づき実施する予防接種です。

＜対象者＞ 平成19年4月1日生～20歳未満まで

住民票が岩見沢市にある方が対象となります。住民票が確認できなかった場合は有料となります。転出先の市町村にご確認下さい。

日本脳炎の予防接種は通常3歳で2回、4歳で1回、9歳で1回の合計4回うけますが、北海道では、これまで定期の予防接種として行っていなかったことから、これ以外の年齢の方にも、接種が勧奨されます。予防接種の副反応により予防接種を差し控えていた時期があり、全国でも特例制度で20歳未満の方が予防接種を受けられます。



＜接種期間＞ 20歳未満まで

＜接種回数＞ 合計4回

*ただし、20歳を過ぎると不足分は任意接種となり、有料となります。

＜料金＞ 無料

＜持ち物＞ ①予防接種予診票 ②母子健康手帳（ない方は同封の接種記録表）
③健康保険証等、住所及び生年月日が確認できるもの
（岩見沢市民であることと接種対象年齢であることの確認のため）

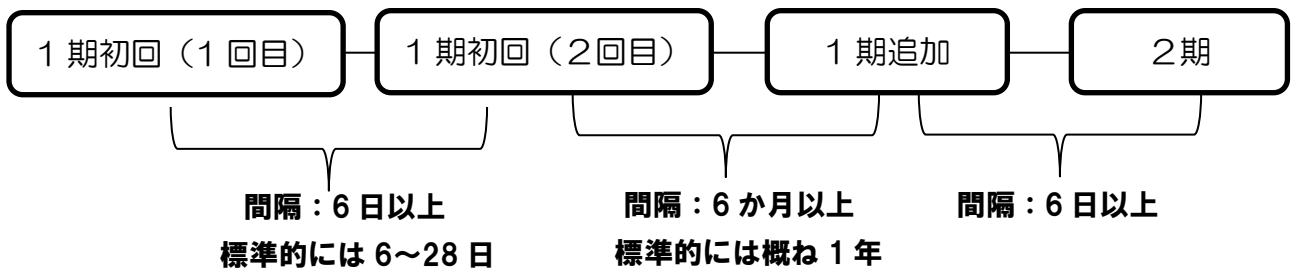
＜接種場所＞ 委託医療機関一覧をご覧ください。

＜注意事項＞ 女性の場合、妊娠している方またはその可能性のある方は原則、予防接種はできません。

★お知らせ★

予防接種法の改正に伴い、満16歳以上の方は保護者の同意署名がなくても、ご本人の同意により、接種が実施できるようになりました。

接種スケジュール



※過去に接種歴のある方（接種間隔は接種医と相談してください）

残りの回数について上記のスケジュールに従って接種します。

平成23年5月19日までに接種歴のある方は6日以上の間隔をおいて不足している回数を接種できます。

日本脳炎とは

日本脳炎は、日本脳炎ウイルスが脳や脊髄に感染して発症し、高熱、頭痛、おう吐、けいれん、意識障害などの症状がでます。ウイルスに感染しても脳炎にならない人がほとんどですが、脳炎を発症すると、現在でも致死率は20～40%と考えられており、後遺症を残す例も少なくありません。

日本脳炎ウイルスは、ふだんはブタなどの動物の体内で増え、その動物の血を吸った蚊（コガタアカイエカ）が人を刺すことによって、ヒトにも感染します。

日本脳炎ワクチンを接種することで、体の中に日本脳炎への抵抗力（免疫）ができ、日本脳炎にかからないか、たとえかかっても軽くすみます。

平成21年6月からは、重い副反応が起こりにくい安全なワクチンが用いられています。

接種にあたっての注意事項

- この通知をよく読み、予防接種の有効性や副反応について理解し、保護者等が文書に署名し、同意した場合に限り行われます。予診票は責任を持って記入をお願いします。
- 体調の良い時に受けるのが原則です。体温は医療機関で計ります。
- 気にかかることがあれば、あらかじめ医師に相談しましょう。

予防接種を受けることができない場合

☆明らかに発熱（通常37.5℃以上をいいます）している人

☆重篤な急性疾患にかかっている人

☆接種する予防接種に含まれている成分でアナフィラキシーを起こしたことがある人（アナフィラキシーとは通常接種後約30分以内に起こる重いアレルギー反応のことです）

☆その他、医師が不適当な状態と判断した場合

次の方は、接種前に医師にご相談ください

- ☆心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患、発育障害などの基礎疾患のある人
- ☆予防接種で、接種後 2 日以内に発熱のみられたお子さん及び発疹、じんましんなどのアレルギーと思われる異常がみられた人
- ☆過去にけいれん（ひきつけ）を起こしたことがある人
- ☆過去に免疫不全の診断がなされているお子さん及び近親者に先天性免疫不全者がいる人
- ☆ワクチンには、抗生物質、安定剤などが入っているものがあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのある人

予防接種を受けた後の注意事項

- ・ 予防接種を受けた後、30 分間程度は病院で様子を観察するか、医師とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- ・ 接種後、1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ・ 接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- ・ 当日は、はげしい運動は避けましょう。
- ・ 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

「日本脳炎ワクチン」の副反応について

発熱、注射部位が赤くなる、せきや鼻水がでるといった症状の報告がありますが、通常は数日でおさまります。また、きわめてまれですが、アナフィラキシー（通常接種後 30 分以内に出現する呼吸困難や全身性のじんましんなどを伴う重いアレルギー反応のこと）、急性散在性脳脊髄炎（脳や脊髄に炎症がおこり、発熱、頭重感、けいれん、意識障害などの症状があらわれる）、急性血小板減少紫斑病（かさぶたを作る働きをしている血小板が少なくなって出血しやすくなり、皮膚の下で出血し、青あざができたりする）などが生じる可能性があります。

予防接種による健康被害救済制度

定期の予防接種により引き起こされた副反応で、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障害を残すなどの健康被害が生じた場合、専門家による国の審議会でも因果関係を審議し、予防接種によるものと認定された場合には、医療費、障害年金などの予防接種に基づく補償を受けることができます。ただし、対象から外れて接種し、健康被害が生じた場合は独立行政法人医療品医療機器総合機構法に基づく救済を受けることになり、概ね予防接種法の救済に比べその額は 1/2 程度になります。

《その他》

- ・ 転出された場合は岩見沢市の予診票は使用できません。転出先の市町村にお問合せ下さい。
- ・ 接種医療機関以外での接種は全額自己負担になります。
- ・ 長期にわたる入院等の理由により岩見沢市以外での接種を希望される方は、依頼書が必要となりますので、下記までお問合せ下さい。

《指定医療機関》 五十音順

* 予約の有無、診療時間など確認の上、受診して下さい。

令和6年4月現在

医療機関名	住 所	電 話
あくつこどもクリニック	10条西4丁目	33-8000
石塚内科医院	5条東11丁目	22-1718
岩見沢市立栗沢病院	栗沢町南本町30	45-2351
岩見沢市立総合病院	9条西7丁目	22-1650
栗沢町美流渡診療所	栗沢町美流渡錦町93	46-2122
ささえるクリニック岩見沢	志文本町5条2丁目	25-2550
さとうキッズクリニック	大和1条9丁目大和タウンプラザ内	20-0310
すこやかクリニック上幌向	上幌向南1条4丁目	35-1681
竹内医院	6条西2丁目	22-0134
竹内内科循環器科	美園5条3丁目	22-2273
中央医院	6条西6丁目	22-0472
出口小児科医院	7条西5丁目	22-3570
はくま内科・呼吸器内科クリニック	7条東6丁目	31-5030
東町ファミリークリニック	東町1条8丁目	24-5771
ふじねクリニック	7条東6丁目	35-5617
ほろむいクリニック	幌向南1条3丁目	26-6622
牧病院	3条西5丁目	22-0043
松藤医院	2条西5丁目	22-3251
森川内科クリニック	6条東1丁目	33-5600

《問合せ先》

岩見沢市健康福祉部健康づくり推進課健康支援係

〒068-0024

岩見沢市4条西3丁目 であえーる岩見沢3階 岩見沢保健センター

電話：0126-25-5540 FAX：0126-25-5524

